

暑中お見舞い 申し上げます

平年より梅雨明けが遅れ、気温も少し低いように伝えられる今夏ですが、それでも蒸し暑さは例年と余り変わりありません。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。お見舞いを申し上げます。

二神系譜研究会常任理事会一同

会長	三 浩一
副会長	二 神 俊
事務局	二 神 英三郎
常任理事	二 神 重則
常任理事	二 神 信助
常任理事	二 神 涉
常任理事	二 神 寿弘
監事	二 神 良昌



由利島から二神島を望む

第1回常任理事会を開催 任務分担は現行通り

総会で決められた今年の調査研究方針に基づき、それらを具体化するため初めての常任理事会が6月15日に松山市味酒町の愛媛ソフトウェアサービス事務所で開かれました。

初めに5月4日の総会以降の経過が報告されたあと、総会で決められた内容について具体的に討議をすすめる、いわゆる愛媛県内で藩政時代に株家があったと見られる地域の系譜調査を常任理事会の主導で具体的に進めてゆくことになり、その第一候補として「北方二神氏」(愛媛県温泉郡川内町)を挙げ、この秋をメドにして取り組みを行うことになりました。また「北方二神氏」につづく候補としては「高浜二神氏」と「船ヶ谷二神氏」が挙がり準備をすすめてゆくことになりました。

今後の日程では6月22日に奈良市内で開催される「関西・中部支部」総会への出席や古文書の調査研究では二神系譜研究会として大変お世話になっている「芸予地震被災資料救出ネットワーク愛媛」の総会への参加などが議論されました。また、「二神」と書いて「ニカミ」と発音する系譜の二神将氏とも連絡が取れ、二神氏(ニカミ)の歴史についても一定の状況が判りました。詳しくは会報第6号で